

ミーアキャット

さばくの
みはりばん



ミーアキャットは、アフリカのさばくにすむ、小さなどうぶつです。体のおもさはリンゴ一つぶんほどしかなく、ほそ長い体と、くりくりした大きな目がとくちょうです。

むれでくらすミーアキャットには、みはりのやくめがあります。二本の足でまっすぐに立ち、とおくをじつと見はります。てきを見つけると、大きな声でなかまに知らせます。鳴き声は三十しゅるいいじょうもあつて、てきによつて鳴き方をかえるのです。

さむいさばくの朝は、体があたたまるまで、うまうぐけません。そこで、たいようが上ると、まずおなかをたいようにむけて、体をあたためます。目のまわりの黒いもようには、たいようの強い光をやわらげる、サングラスのやわりがあります。

ミーアキャットは地面の下にすあなをほつて、なかまたちと仲良くくらしします。すあなには出口がたくさんあるので、てきが来ても、すばやくにげることができるのです。

せんたく(1)

ミーアキャットはどこにすんでいるのですか？
えらんで○をつけましょう。

- ① オーストラリアの森
- ② 南アメリカの山
- ③ アフリカのさばく

せんたく(2)

てきを見つけたとき、どうしますか？

えらんで○をつけましょう。

- ① しらんぷりをする
- ② 大きな声でなかまに知らせる
- ③ かくれる

きじゆつ(1)

朝、太陽がのぼるとミーアキャットは何をしますか？

きじゆつ(2)

目のまわりの黒いもようのやくわりは何でしょうか？

かん字

かん字に直して書きましょう。

(1) みみ

(2) ちから

(3) みぎて

こたえ

ミーアキャット

せんたく

(1) ③

(2) ②

きじゅつ

(1) おなかをたいようにむけてあたためる

(2) たいようの強い光^{つよひかり}をやわらげる

かん字

(1) 耳^{みみ}

(2) 力^{ちから}

(3) 右^{みぎ}手